

第114回番組審議会議事録

株式会社エフエムしみず

- 日 時 平成27年7月15日(水) 午後1時30分～午後2時30分
- 場 所 清水マリントーナメント3階 会議室
- 出席委員 角替弘志委員長、望月紀久朗副委員長、河村節子委員、伊藤公一委員、
渡辺一弘委員、山下康貴委員
- 欠席委員 飯田一晴委員
- 進 行 1. 開 会
2. 審議番組 概要説明 審議番組聴取 20分
3. 審 議
5. 放送予定、次回審議会予定、その他
6. 閉 会
- 審議番組 「昭和の名曲 ミュージックトリップ」
平成27年 7月 5日(日) 20時00分～20時30分
外部制作番組(株)シティエフエム静岡
- 番組概要 『音楽はいつも心を豊かにしてくれます。
楽しいとき、辛いとき、あなたはどんな曲と共に過ごして来ましたか?
ドキドキしながら、そして勉強中にこっそり聴いていたあの曲・・・
この番組ではそんな甘酸っぱい思い出の1ページを、懐かしのあの人、あの
話題、あの1曲と共に振り返ります。』(番組HPより抜粋)

番組審議内容

角替委員長

審議挨拶、各委員からの意見を伺います。

河村委員

話し方の「間の取り方」が絶妙。声のトーンが落ち着き過ぎているので、もう少し明るい声の方が番組の雰囲気合うのではないかと。

耳にした覚えのある曲ばかりで懐かしさを感じることができた。

望月委員

BGMや喋り方を含めて、昭和のレトロな感じが全面に出ている感じだった。

このくらいの方が今の若い世代にとっては新鮮な感じで受け入れられるのかもしれない。

渡辺委員

時代背景や曲にまつわるエピソードについて丁寧に紹介されている。

若い世代には、もう少しテンポが速い方が受け入れられるのではないか。

山下委員

とんねるずの「雨の西麻布」しか知らなかったが、おしゃれな選曲だった。

昭和の雰囲気を感じることができた。

伊藤委員

タイトルから昭和歌謡一辺倒な番組を想像したが、オールディーズやジャズの曲など幅広いジャンルから選曲されていた。

「昭和」といっても戦前から昭和60年代と幅が広いため、もう少し時代を区切っていけば聞きやすい構成になるのではないか。

角替委員長

どこまでを「名曲」と呼べるのかその定義が難しい。紹介された曲のうち、私が知っていたのは1曲だけだった。

制作が㈱シティエフエム静岡とのことだが、選曲が上品だった。同じような番組をエフエムしみずで制作したらどんな曲を選ぶのか、そのあたりで静岡と清水の地域の特徴が出ると思った。

その他

エフエムしみずより

7月1日より「インターネット・サイマルラジオ」の配信を開始しました。これにより電波の届きにくかった地域や場所でも、インターネットの環境が整っていればパソコンやスマートフォン、タブレット等の端末を利用して放送を聴くことができるようになりました。

今回は、平成27年9月16日（水） 13：30 開催予定

以上